

## 2021年3月期 第1四半期決算の発表について

昭和産業株式会社(社長:新妻一彦)の2021年3月期第1四半期連結決算は、売上高61,117百万円、経常利益2,722百万円となりました。2021年3月期連結業績予想については、売上高2,560億円、経常利益92億円を見込んでおります。

### 【2021年3月期第1四半期連結決算】

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、昨年度末から引き続き拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、経済・社会活動が制限され、極めて厳しい状況が続きました。緊急事態宣言が解除され、感染拡大の防止策を講じつつ、経済・社会活動のレベルは段階的に引き上げられていますが、主要都市を中心に感染状況が拡大傾向にあり、依然として先行きは不透明感の高い状況が続いております。

このような状況の中、当社90周年を迎える2025年度のありたい姿(長期ビジョン)「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、2nd Stage「中期経営計画20-22」を本年4月にスタートいたしました。5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各種施策の推進に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間では、「②事業領域の拡大」の施策については、5月20日付けで台湾大成集団のグループ会社である「國成麵粉股份有限公司」および「中一食品股份有限公司」が実施する第三者割当増資による株式を引き受け、台湾において新たに「製粉事業」「飼料事業(鶏卵)」に参入いたしました。増資後の当社の出資比率は、「國成麵粉股份有限公司」に40%、「中一食品股份有限公司」に35%となり、両社とも持分法適用会社となります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は61,117百万円と前年同期に比べ3,226百万円(5.0%)の減収となりました。営業利益は2,284百万円と前年同期に比べ445百万円(16.3%)の減益、経常利益は2,722百万円と前年同期に比べ578百万円(17.5%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,919百万円と前年同期に比べ724百万円(27.4%)の減益となりました。

### 【2021年3月期連結業績予想】

第2四半期以降も新型コロナウイルス感染症拡大の状況、為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2020年5月14日に公表した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想につきまして変更はありません。

また、連結子会社の増加による業績への影響につきましては現在精査中であり、今後連結業績予想の修正が生じる場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

#### <本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松  
TEL:03-3257-2042